

活 動 報 告

青山さん応援募金

仲間自治会はワカメのお得意さんに

配達ができなくなった
事をお知らせする文書
と青山さん応援募金の
お願いに、地域を歩き
ました。
「目標を立てて頑張っ
ていらしたのに本当に
残念ですね。これから
も応援していますよ！
しつかりね」
「再建されるといい
ですね、それまで
待っていると伝えて
下さい」など、募金
と励ましの言葉を
頂いています。

引き続き、募金への
ご協力をお願い致します

4月中は、引き続き募金活動を続けます。

青山さん情報

メールの応対より

《はぐるまの会より》

春らしくなりました。

そちらはどうでしょうか
平成9年にお邪魔して
から、早14年が経ち
ました。利用者さん達
と見た、あののどかな
風景は映像ではみじん
も感じられませんが
海は美しいままだと
思っています。

川崎施設のわかめ仲間や
お得意さんから、青山さん

No.57号

2011年3月25日

社会福祉法人
はぐるまの会

広報委員会
後援会

川崎市多摩区菅馬場1-18-17

Tel 044-946-1308

の状況を聞かれたり、多くの励ましの伝言
がはぐるまの寄せられています。ご無事が
わかった時は皆で喜びあいました。

今後こちらの情報もお伝えしたいと思っ
ていますので、またこのアドレスにお邪魔
致します。皆様お元気でいらして下さい。

《返信・青山さんより》

ご無沙汰しております。メールをありが
とうございます。そちらの皆様にもご心配
頂き本当に有り難く思っております。おか
げ様で皆様のあたたかい励ましに支えられ、
前向きに歩みを進めております。私共もな
んとかお客様と連絡を取らせて頂きたく、
瓦礫の中、住所録とパソコンを懸命に捜し
ましたが、見つける事ができず、本当に残
念でなりません。

申し訳ございませんが、皆様によろしくお話し頂けましたらありがたいと思います。

色々ありがとうございます。歳月を経て十三浜の海は再びよみがえってくれると信じています。その時はまた、はぐるまの皆さん是非お越し下さい。では・・・

※青山さんご本人より、直接ご連絡を頂きました。また新しい情報が入りましたら、関係者の皆様へご報告させていただきます。

【きょうされん神奈川支部より】

東日本大震災救援チームの派遣について、情報提供がありましたのでご報告いたします。

きょうされん神奈川支部

第1回福島県救援チームより

以下、事務局ニュースの一部抜粋

救援チームでは、福島県原発の30km圏を除く海岸地方（浜どおり地方）の作業所・施設の被災状況の確認とガンリン・食料品等の欠乏物品の引き渡しを行なってきました。

東北道では福島県に入ると道路に亀裂が入ったところを修繕したせいで、何回も車がジャ

ンプし、怖くてスピードは出せません。町中では、屋根瓦の一番上が崩れ落ちブルーシートで覆われている・塀が倒れている民家を多く見かけるようになり、側溝が陥没したり、コンクリートの建物に致命的な亀裂が入ったり、という状況です。

実際に海岸に近い、いわき市内の作業所・施設5ヶ所をめぐり安否確認を行いました。

海岸付近の作業所では、半壊状態の建物内の砂を職員全員で片付け作業の真つ最中という状況でしたが、我々が持つて行ったガンリン・食糧等は「涙を流さんばかり」の歓迎ぶりではばれました。

障害者が消えた？

各地の避難所廻りをして、障害を持つた方々の安否確認をしました。が、障害を持つた方々は極めて少数でした。「いったい障害者は何処に」というのが、率直な感想でした。おそらく「避難所の方々に迷惑をかけてはならない」ということで、自宅にこもったり、親類の家に避難しているのだらうと思われました。

等の切実な被災地の報告を受けました。

被災地への救援チーム派遣について

【岩手県の現状報告】

きょうされん神奈川支部より救援チームの派遣先として予定をしていた岩手県宮古市では、大きな余震が頻発しており、救援チームの安全確保・滞在先等の受け入れ態勢が整っておらず、この状況下では関東など遠方からの救援チームの派遣が難しいとの報告を受けました。

現在、宮古市への支援は、きょうされんの東北各県の救援チームが入って下さっていると、の事で、しばらくは、この状況が続くことが予想されています。

※はぐるまの会としましては、被災地である受け入れ先の負担を考慮し、『きょうされん』からの正式な要請を受けてから救援チームを派遣したいと考えておりますので、ご了承下さい。

たくさんさんの救援物資のご協力を頂き誠にありがとうございます

皆様のご協力で救援物資千五百点以上の提供を頂き、きょうされんの救援物資リストに登録をさせていただきました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

はぐるま後援会だより

はぐるまの会 後援会事務局

〒214-0004 川崎市多摩区菅馬場1-18-17

TEL 044-946-1308

2011年4月発行 NO.16

《22年度》入会ありがとうございました

引き続き：《23年度》もよろしく願いいたします

あいうえお順

敬称略

新井 靖子 / 有賀 節子
飯野 玲 / 石暮孝明
★石澤 幸樹 / 石塚千恵子
伊藤恵子(竹内)
伊藤 烈 / 伊藤 祥子
稲川 光男 / 岩瀬 博三
岩田 かつの / 岩田 洋子
内田 唯一 / ★宇野 高史
浦山多智子 / ★浦山 一子
及川 総子 / 大内 文男
大内 テルヨ / 落合 由貴
小畑 美帆 / 金子 良夫
金田 進 / 金田 圭二
鬼海 紀子 / 木島 誠子
儀間さとみ / 倉持 隆雄
倉持 洋子 / 桑原 慎次
小平ときよ / 小平 良二
今野 夏子 / ★坂野 裕樹
坂本 貞子 / 桜井 耕治
★佐々木綾太 / 佐藤貴志子
佐藤 初枝 / 佐野 英城
澤 俊男 / 志岐チエコ

清水 安雄 / 下築 京子 / 末松 恵
関口理枝子 / 高木 綾 / 高野 裕夫
高橋 紀子 / 竹内 恵子 / 竹下 文子
寺川恵美子 / 土井 道子 / 東郷 愛子
遠井 洋文 / 遠井 恵子 / 中澤 毬子
永野 愛 / 長原 純一 / 長原 進
中村 操 / 中村 静美 / 中山 俊男
野瀬佐知子 / 芳賀ゆみ子 / 橋本 妙
橋本 静代 / 浜元 勝 / 原口三重子
蛭海 進 / ★蛭海 涼 / 福田 真
堀内 金吾 / 卷山 協子 / 丸山 定正
森崎 敏之 / 矢澤 静江 / 保田 和美
山岸 直保 / 山田 幸子 / 山本 糸子
渡辺 邦義

★新規加入

法人会員

(株) 遠井保険事務所

(有) 由美興業

東京セントラル税理士法人

グレース・ヤノ有限会

(株) ブルーマ

★今年度も会員を継続していただける方は、「だより」と共に、郵便振り込み用紙を同封させていただきますので、お手数ですがお手続きのほど、よろしくお願い申し上げます。

第15回役員会報告

4月19日 「花ハウス」にて実施

議案(一) 役員の改選について

保護者会の担当が変わりました(敬称略)

旧・・ 下築 京子 佐藤 貴志子

新・・ 木島 誠子 丸山 玉江

下築さんと佐藤さんには、後援会発足時

よりご尽力を頂きましたので、5年間お世話になりました。ありがとうございました。

新規役員の丸山さんは、佐藤さんの後任で、会計監査をお願いいたしました。

よろしくお願いいたします。

役員全体の改選は来年度になりますので、現メンバーは任期まで務めさせていただきます。

議案(二) 22年度 決算報告

会員数148人に対し、81名の更新に留まってしまうた事の反省が出され、今期は大きな事業の展開がありますので、後援会の必要性をアピールする事で協力を求める活動をしていくことになりました。

単位 円

収入の部

| 収 支 科 目 | 収 入 金 額 |
|---------|-------------|
| 前年度繰越金 | 4, 513, 002 |
| 会費収入 | 513, 320 |
| 寄付金収入 | 547, 882 |
| 預金利息 | 558 |
| 計 | 5, 574, 762 |

支出の部

単位 円

| 収 支 科 目 | 支 出 金 額 |
|--------------|-------------|
| 事務経費(仮払い) | 50, 000 |
| きょうされん 映画DVD | 13, 755 |
| 映画会 会場使用料 | 47, 060 |
| 次年度繰越金 | 5, 463, 947 |
| 計 | 5, 574, 762 |

注・「ふるさとをください」上映売り上げは、前年度に計上されています

議案(三) 会則の見直し

社会福祉法人はぐるまの会后援会会則

第5条 会員及びその資格

会員の資格が無くなる時の定めを明記しておく。

《例》脱会の意思表示があつた場合や3年間の会費未納な時 等

第7条 役員

役員の数総数は奇数とし、議決できる人数にする。

副会長は二名のところ、現在は一人であることから、地域の方に入っていたいただきたいの希望が出されました。

第8条 役員会

役員会で決定できる事項を追加する。

特に後援会資金を使う時の、使途目的に合わせた金額等の決定をする事ができるようしていきたい。

★第9条「総会」については、年一回とあるが、年2回以上発行する会報をもって代える事ができるので、決定事項を速やかに会員の皆様に報告をしていく事を確認しました。

報告

「はぐるまの会后援会」より

きょうされん自然災害支援基金口と

日本知的障害者福祉協会・災害義援金口へ、それぞれ5万円を寄付をさせていただきます。

被災地の障害当事者及びご家族・施設の支援を目的としていますので、「ご了承ください」。